

■ 県内分布

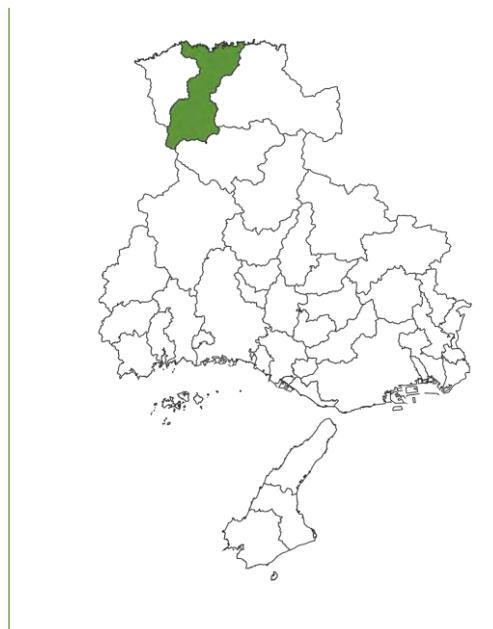
香美町

■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

近縁種のコウヤノマンネングサは、県中北部の数ヶ所で大きな群落が見つかった。



写真提供：秋山弘之

■ 保護上の留意点

湿地の縁、水がひたる土壤に小さな群落を確認。ただし、湿地の陸地化がすすめば、生育地が失われる可能性がある。

■ 種の概要

コウヤノマンネングサに似るが、一般に背が低く、二次茎は上部までまっすぐで湾曲しない。また地下部のストロンは短く、株立ちする傾向が強い。枝先はあまり細くならず、枝の表面に毛葉が多い。枝葉はコウヤノマンネングサよりも幅広く、先端は広く尖り、中肋背面は平滑。蒴はまれ。蒴柄は長さ3cm前後、外蒴歯のほぼ全面にパピラがある。流れや池の側の必ず湿った地上、岩上に生育し、ときに湿地に大きな群落をつくらることがある。